

テーマ	中間試験（Ⅱ）
-----	---------

1. 次の期中取引について仕訳を示しなさい。

- (1) 商品¥5,000 を売上げ、代金として他人振出小切手を受け取った。
- (2) 帳簿在高は¥800 であり、実際在高は¥600 であった。
- (3) 上記(3)の不一致の原因は、支払利息の記入漏れであった。
- (4) 売掛金¥50,000 を以前自店が振り出した小切手で回収した。
- (5) 手数料¥1,000 を支払うために小切手を振り出した。なお、預金残高は¥800 である。(二勘定制)
- (6) 現金¥500 をただちに上記(5)の口座に入金した。(二勘定制)
- (7) 会計係は用度係に小口現金として小切手¥5,000 を渡した。
- (8) 用度係より水道光熱費¥3,000、交通費¥1,500、消耗品費¥200 を支払った旨の報告を受けた。
- (9) 上記(7)(8)の小口現金に小切手を振り出して補給した。
- (10) 商品¥1,000 を現金で仕入れ、引取運賃¥500 とともに現金で支払った。
- (11) 商品¥1,000 を現金で売上げ、発送費¥500 は小切手で支払った。
- (12) 品違いのため、商品¥300 分を返品した(以前、掛で仕入れた)。
- (13) 商品¥1,000 の内金として¥300 を現金で受け取った。
- (14) 上記(13)の商品を販売し、残金を現金で受け取った。
- (15) 本日、商品券¥10,000 を現金で販売した。
- (16) 従業員が出張するので、現金¥1,000 を交通費として概算額で渡した。
- (17) 上記(16)の従業員が出張から帰り、残金¥300 を現金で受け取った。
- (18) 買掛金¥1,000 を支払うために、かねて売掛金のある得意先引受の為替手形を振り出した。
- (19) 仕入先の買掛金¥1,000 を決済するために、為替手形を引受けた。
- (20) 得意先の売掛金¥1,000 の代金として為替手形を受け取った。
- (21) 商品の仕入に際して、かねて保有していた手形¥1,000 を裏書譲渡した。
- (22) 1 株¥50,000 の株式 10 株を 1 株¥60,000 で売却し代金は現金で受け取った。
- (23) 現金¥300,000、土地¥600,000、備品¥100,000、借入金¥400,000 を元入して開業した。
- (24) 店主が現金¥5,000 を引き出し、個人の生命保険を支払った。(引出金勘定を使用すること)
- (25) 備品(取得価額¥100,000、残存価額取得価額の 10%、耐用年数 5 年、取得後 2 年経過)を現金¥70,000 で売却した。(間接法)

テーマ	中間試験（Ⅱ）
-----	---------

2. 次に示した八尾商店の平成 25 年 3 月 1 日現在の合計試算表、および同店の平成 25 年 3 月中の取引にもとづき、答案用紙の平成 25 年 3 月 31 日の合計試算表を作成しなさい。

合 計 試 算 表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
3,240,000	現 金	1,350,000
8,890,000	当 座 預 金	6,025,000
4,500,000	受 取 手 形	3,000,000
3,010,000	売 掛 金	2,170,000
1,800,000	売 買 目 的 有 価 証 券	
2,260,000	繰 越 商 品	
700,000	貸 付 金	250,000
1,500,000	備 品	
2,030,000	支 払 手 形	2,980,000
1,835,000	買 掛 金	3,150,000
	商 品 券	600,000
700,000	借 入 金	2,500,000
	貸 倒 引 当 金	40,000
	備 品 減 価 償 却 累 計 額	540,000
	資 本 金	6,500,000
	売 上	12,482,000
	受 取 利 息	42,000
8,563,000	仕 入	
2,359,000	給 料	
85,000	支 払 保 険 料	
102,000	通 信 費	
55,000	支 払 利 息	
41,629,000		41,629,000

テーマ	中間試験（Ⅱ）
-----	---------

平成 25 年 3 月中の取引

- 3/3 商品 ￥250,000 を仕入れ、約束手形を振り出した。
- 3/4 商品 ￥400,000 を売り上げ、代金のうち ￥250,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。
- 3/5 商品 ￥150,000 を仕入れ、代金のうち ￥75,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。
- 3/6 倉庫に保管中の不要となった書籍類を売却し、現金 ￥6,000 を受け取り、雑益として処理した。
- 3/7 売買目的でヤマネ産業(株)の株式 1,200 株を 1 株 ￥1,000 で購入し、代金は未払いとした。
- 3/10 商品 ￥200,000 を仕入れ、代金は掛けとした。
- 3/11 売掛金 ￥380,000 が当座預金に振り込まれた。
- 3/12 株式の購入に伴う未払金 ￥1,200,000 の支払いのために小切手を振り出した。
- 3/13 商品 ￥500,000 を売り上げ、代金のうち ￥200,000 は現金で受け取り、残額は約束手形で受け取った。
- 3/14 売掛金 ￥250,000 を約束手形で回収した。
- 3/14 商品の手付金として ￥150,000 を小切手を振り出して支払った。
- 3/17 商品 ￥80,000 を売り上げ、代金のうち ￥60,000 は当店発行の商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
- 3/18 得意先より当座預金に ￥50,000 の振込みがあったが、その内容は不明である。
- 3/19 3/7 に購入したヤマネ産業(株)の株式 450 株を、1 株 ￥1,250 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金へ預け入れた。
- 3/21 社員の出張にさいし、旅費交通費 ￥45,000 を現金で概算払いした。
- 3/22 3/18 に得意先より振込みのあった ￥50,000 は商品注文の手付金であることが判明した。
- 3/24 3/14 に回収した約束手形 ￥250,000 を銀行で割り引き、手取額 ￥246,000 は当座預金とした。
- 3/25 本月分給料 ￥225,000 を現金で支払った。
- 3/26 12/25 に振り出し、昨日決済期日の約束手形 ￥180,000 が、当座預金勘定から引き落とされた旨の連絡を銀行より受けた。
- 3/27 商品 ￥350,000 を売り上げ、代金のうち ￥200,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。
- 3/28 出張していた社員が戻り、旅費交通費の精算をし、現金で残額の ￥3,000 の返済を受けた。
- 3/31 買掛金の支払いのため、保有していた約束手形 ￥500,000 を裏書譲渡した。

テーマ	中間試験（Ⅱ）
-----	---------

3. 次に示した、(1) 決算日までに判明した未処理事項、および (2) 期末整理事項にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 1 年間である。

(1) 決算日までに判明した未処理事項

1. 決算直前に得意先八王子商店に販売した商品に品違いがあり、原価 ￥150,000（売価 ￥205,000）の商品が返品されてきたが、この取引が処理されていなかった。この返品分については、同店に対する売掛金と相殺することとした。
2. 得意先から受け入れていた約束手形 ￥350,000 を買掛金支払いのため、仕入先高尾商店に裏書譲渡していたが、この取引が処理されていなかった。
3. 出張中の社員から当座預金口座へ振り込まれた ￥280,000 については、仮受金で処理していたが、￥180,000 については得意先文京商店に対する売掛金を回収したものであり、￥100,000 については得意先茗荷谷商店から受領した手付金であることが判明した。

(2) 期末整理事項

1. 受取手形および売掛金の期末残高に対して 3%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。
2. 売買目的有価証券の時価は ￥3,050,000 である。時価法により評価替えをする。
3. 期末商品の棚卸高は ￥783,000 である。なお、この期末商品棚卸高には、(1) 決算日までに判明した未処理事項における返品分は含まれていない。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
4. 建物および備品については定額法により減価償却を行う。

建物	耐用年数 30 年	残存価額：取得原価の 10%
備品	耐用年数 5 年	残存価額：取得原価の 10%
5. 借入金は、平成 24 年 12 月 1 日に借入期間 9 ヶ月、年利率 5%の条件で借り入れたもので、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。利息については月割り計算による。
6. 保険料は、全額建物に対する火災保険料を 6 月 1 日に向こう 1 年分支払っている。
7. 消耗品の期末未消費高は ￥12,290 である。
8. 家賃の未収分が ￥87,000 ある。